



子どもの成長を見ていこう！



発達期	新生児期	2ヵ月	4ヵ月	7ヵ月	10ヵ月	1歳	1歳半	2歳	2歳半	3歳	4～6歳
主な特徴	外界に適応するために、各機能を調節する時期。	一生のうちで最も成長する時期。機嫌の善し悪しが表情にだせる。	首がすわる。夜と昼の区別がついて昼間いろいろな刺激をうける。	短い期間の記憶ができる。(夜泣き)	探す、みつめる、探究心旺盛。	立って歩く。	全身を使って遊ぶ。様々な感情表現がでてくる。	反抗期が始まる。自我が発達する。	→	自分の意志で行動したい時期。	反だちと遊ぶのが楽しい時期。集団のルールを教える。
体をつくる	身長	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm
	体重	g	g	g	g	g	kg	kg	kg	kg	kg
栄養	母乳・ミルク		<5ヵ月> 母体からの貯蔵数がなくなる時期。離乳食はなめらかにすりつぶした状態。	舌でつぶせる固さ。 離乳食2回 (ヵ月)	<9～11ヵ月> 離乳食3回/日 <9ヵ月頃> 歯ぐきでつぶせる固さ。	手つかみ食べ。 <1歳頃> 歯ぐきでかめる固さ。	離乳食完了 (歳 ヵ月) (栄養の大部分を食事からとれる)				
免疫	赤ちゃんは抗体を作る力が弱い。	BCG …母から免疫をもらえない。百日ぜき 破傷風 …母からもらった免疫は3ヵ月ぐらいで消失。麻疹 (はしか) …母からもらった免疫は12ヵ月までにほとんど消失。									抗体をつくる力が大人並みになる。(4歳)
排泄	ぼうこうに尿がたまると反射的にでる。	※早寝早起きの生活リズムで過ごすことで深い睡眠になり、夜尿をつくらない。ホルモン (抗利尿ホルモン) がでて夜の尿量が減少してくる。					ぼうこうに尿がたまると尿意を感じ尿意を教える。まだがまんができない。	尿意もわかり、がまん出来るので尿間自分の意志で尿を出す。			4歳半 自分の意志で自由に尿を出すことができる。(大人と同じ動き)

発達の過程

人や社会とのかわり		あやすと笑う (ヵ月)	人見知りをする (ヵ月)	バイバイなどのまねをする動作ができる (歳 ヵ月)	「ちょうだい」で渡せる (ヵ月)	指さし行動ができる (歳 ヵ月)		自分の名前が書える (歳 ヵ月)	自分の意思を通そうとする段階を経て、泣かずに自分の欲求処理をできるようになる。そして、徐々に周りの状況を理解・判断して自分の行動を決定していくことができる。
ことばの発達		あやして笑う (ヵ月)	声の方に振り向く (ヵ月)			意味ある1語を言う (歳 ヵ月)	体の部位 (目・口・耳・鼻など) を示す (歳 ヵ月)		まず聴く脳が発達する。そして、言葉を理解する脳、発音する脳と順々に発達して話ができるようになる。
手や指先の運動		遠視ができる (ヵ月)	物に手を伸ばす (ヵ月)			なぐり書きできる (歳 ヵ月)	2～4個の積み木などを積むことができる (歳 ヵ月)	紙を1回折ることができる (歳 ヵ月)	五感の体験を通して脳が発達すると共に周りの物に興味を示し、徐々に指の複雑な動きができるようになる。指の動きの発達で道具を自由に使えるようになる。
全身の大きな運動			寝返りができる (ヵ月)	つかまり立ちができる (ヵ月)	支えなしで座れる (ヵ月)	上手に歩く (歳 ヵ月)	階段を登れる (歳 ヵ月)	ジャンプができる (歳 ヵ月)	自分の体が思い通り動くには脳 (上) から下へ発達する法則がある。つまり、筋肉は首から脚への順序で発達する。体を動かす脳、姿勢を保つ脳、運動の組み立てをする脳、バランスを取る脳が発達して一人で歩けるようになっていく。
備考 (気づいたことを記入してください)	<新生児訪問> <1ヵ月健診>	<こんいちほ赤ちゃん事業>	<股関節健診> <離乳食教室>						